

**姫路市人権教育及び啓発実施計画（案）に関する市民意見
（パブリック・コメント）の募集結果について**

1 市民意見の提出状況

- (1) 案 件 名：姫路市人権教育及び啓発実施計画（案）
- (2) 意見募集期間：令和6年12月19日（木）～令和7年1月20日（月）
- (3) 意見提出件数：4通 5件

2 市民意見の内容

項目	件数
(1) 主な人権課題の現状と今後の取組について（全般）	1件
(2) 主な人権課題の現状と今後の取組について（外国人等）	2件
(3) 主な人権課題の現状と今後の取組について（子ども）	1件
(4) 人権教育及び啓発の推進	1件
合 計	5件

3 市民意見に対する市の考え方

区分	件数
(1) 意見を反映し、計画（案）を修正するもの（修正）	0件
(2) 意見が既に計画（案）に記載されているもの（記載済）	1件
(3) 意見を既に実施しているもの（対応済）	0件
(4) 意見を今後の参考にするもの（参考意見）	4件
合 計	5件

4 修正する項目

修正なし

5 意見の概要と市の考え方

意見の概要	市の考え方
メディアで報道されるSNSによる誹謗中傷や差別、企業やストアにおけるハラスメントなど人権教育に課された課題は多く、増加する技能実習生数の増加など外国人への差別問題、弱者と言われる障害者へのヘイト問題などに対する人権教育は一筋縄ではない難問題と考えます。 人権教育啓発実施計画に基づき、この種の問題を長い時間をかけて解決できる実施計画が記載されているので期待したい。	様々な人権課題に関する施策を推進していますが、依然として人権問題が存在しています。 人権施策の総合的な指針となる「姫路市人権教育及び啓発実施計画」の改定に伴い、同計画の目標である『人権文化に満ちた人間都市「ひめじ」の実現』を目指して、あらゆる場における教育及び啓発を推進し、より一層人権尊重のまちづくりに取り組んでまいります。

意見の概要	市の考え方
外国人の受入れ、家族帯同の場合は無期限と実質的な移民を決議して運用に入りましたが、今後10年もせず人口の1割を占める確率が高いように思います。 既に、川口市ではクルド人を巡る問題、イスラム教徒用土葬用地確保を巡る対立、礼拝やラマダンなど宗教的な行事について、地域に及ぼす影響が問題になっており、移民問題が人権の中心になると思います。	異なる言語・宗教・生活習慣等を有する人との多文化共生社会の実現に向けた教育・啓発が求められています。 「姫路市人権教育及び啓発実施計画」の改定に伴い、多文化共生に向けた教育や情報提供の充実、国際交流の推進等を通じて相互理解を深め、より一層外国人等の人権について正しい理解と相互の人権を尊重し合えるよう取り組んでまいります。
日本では、宗教の教義をそれほど意識していないと思われますが、移民の急増と共存のためには移民者の宗教についても知っておく必要があります。 例えば、教義と法律やルールの軽重関係など、日本人には想定外の宗教の影響を実感するかもしれないことから、将来の予測に基づく準備と対応が急務であると思います。	
外国の方への取り組みも沢山ありますが、まずは日本の子どもたちが暮らしやすい、充実した教育を受けられるような仕組みが増えたらいいなと思います。 今のままでは子どもを育てることは贅沢なことで、産まない選択をする人が増えていく一方に感じます。	子どもの権利を保障し、子どもに関する政策を総合的に推進する「こども基本法」が施行され、全ての子どもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指しております。「姫路市人権教育及び啓発実施計画」の改定に伴い、こうした法制度等を踏まえ、取組の充実に努めます。
人権については個人の主観により解釈が異なるが、現状の市の基本方針には賛成です。特に小学校での人権教育が一番大切ではないかと感じます。 現在、小学校と地域の自治会組織が一体となって人権教育をやっていますが、企業などで人権研修を受ける人も多く、地域住民にとっては、「何を今さらこのようなことをやるのか」との思いがあると思います。 しかしながら、企業や職場の組織ではパワハラ問題が存在し、人権がないがしろにされています。 人間は浅はかなので、法律により人権侵害の罪を明確にし、罰則も強化すべきだと思います。	あらゆる場における人権教育及び啓発を推進していますが、依然として様々な人権問題が存在しています。 国においては、基本的人権の尊重に基づく法整備が行われており、人権課題の解消に向けた取組が進められています。国の「人権教育・啓発に関する基本計画」や「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づく取組とともに、人権施策の総合的な指針となる「姫路市人権教育及び啓発実施計画」の改定に伴い、国や県と連携し、より一層人権教育及び啓発活動に取り組んでまいります。